

第四五〇號艦型一般計画要領書（改正）

3. 1942-23
艦本技密技第481号 -

表紙共十八枚

製回 昭和19年11月17日
出回 昭和19年12月15日

末
歴

- 一、昭和十八年七月一日
- 一、昭和十八年七月三十一日
- 一、昭和十八年八月三十一日
- 一、昭和十八年九月三日
- 一、昭和十八年十月五日
- 一、昭和十八年十月七日
- 一、昭和十八年十月十日
- 一、昭和十九年七月二日
- 一、昭和十九年 月 日

軍令機密第四〇号、潜水艦基本計画概案ニ関スル件、昭会ニ於テシテナリ

第一回主務者打合（第一案）

第二回主務者打合（第一案）

第三回主務者打合（第二案）

艦政本部第四部長ヨリ艦政本部部長へ報告

第四回主務者打合（第三案）

艦政本部技術会議第九分科、会第四委員会ニ附議

官房艦機密第 四一四二〇号ニヨリ改正

官房艦機密第 号ニヨリ改正

目次

一	重要計法等	三
二	砲、煩兵裝	五
三	水雷兵裝	七
四	航海兵裝	七
五	光學兵裝	八
六	電気兵裝	八
七	無線兵裝	九
八	音響兵裝	一〇
九	機関	一〇
十	乘員數	一一
十一	主要機裝品等	一二
十二	重量	一三
十三	復原性能、旋回性能等	一五
十四	連續行動期間	一七

一、重要寸法

垂線間長	全長	吃水線長 (IWL)	最大幅	吃水線幅 (IWL)	深サ
キールラインヨリ上部構造物甲板上面迄 (⊗)	キールラインヨリ司令塔頂板上面迄	キールラインヨリ艦橋天蓋上面迄	キールラインヨリ潜望鏡支柱上面迄	キールラインヨリバラストキール下面迄	耐压船殻直径 (被板外)
	耐压船殻全長 (前後端ト言フ)	安全潜航深度			

(米)										
一	一	五	九	二	〇	〇	〇	〇	七	七
〇	〇	五	九	二	〇	〇	〇	〇	八	九
〇	〇	八	二	〇	〇	〇	〇	〇	五	〇
		〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	四	〇
		〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
		〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
		〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
		〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
		〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

排水量 (常備標準狀態)

前部吃水 (常備標準狀態)

後部吃水 (全 右)

平均吃水 (全 右)

排水量 (滿載標準狀態)

平均吃水 (滿載標準狀態)

排水量 (潛航狀態)

(註 上部構造物浮力 $\frac{1}{2}$ 及其他非水防部 $\frac{1}{2}$ 含す)

排水量 (基準狀態)

重油搭載量 (一號重油(輕油共))

滿載標準狀態

常備標準狀態

航續距離

水上 (十四節)

(噸) 一・二九一・二一

(米) 五・二〇

(米) 五・七二

(米) 五・四六

(噸) 一・二九一・二一

(米) 五・四六

(噸) 一・四五〇

(噸) 一・〇九〇

(噸) 一・〇七〇

(噸) 一・〇七〇

(噸) 一・四四・二

(噸) 一・四四・二

(噸) 一・四四・二

(哩) 五・八〇〇^約

(ハ) 彈藥數(發)

種 類	一門(挺)分	常備標準狀態	滿載標準狀態
十四 榴 砲			
同 右 空 包			
機 銃	八四。	一六八。	一八八。
小 銃	三〇。	六〇。	六〇。
全 右 空 包	一三八。	一三八。	一三八。
拳 銃			
狹窄射擊定包			三〇。

(中) 水密彈藥包筒

機銃水密彈藥包筒(一箇分一。五發)

(カ) 其 他

四 個

三、水雷兵装

註(一)内、四五、四号艦以降、(二)内、五、七號艦ニ適用ス

(イ) 發射管

九五式三型

(ロ) 發射指揮要具

艦本式二型改一

(ハ) 空氣壓縮ポンプ
(由式空氣壓縮ポンプ二型)

四門
一式
二基(一基)
(一基)

(ニ) 蒸氣器

「タンクブロー」用

三号改一(四、五立)

五号改一(四、五立)

九五式二型

機雷搭載、場合代償重量トシテ魚雷ヲ減ス

九二式潜水艦方位盤二型
一四式潜水艦方位盤改一

一〇本
一個組

四、航海兵装

(イ) 羅針儀

四式磁氣羅針儀一型反映付

三式二号 乾輪羅針儀改三(單式)

九二式一号一型 小艦艇用

九六式二型

九九式潜水艦用

一個組

一個組

一個組

一個組

(ロ) 測程儀
(ハ) 航跡儀
(ニ) 測深儀

(ホ) 信号兵器

九七式山川灯ニ型

三式縦舵自働操舵器ニ型

一組 一個

(ハ) 縦舵自働操舵器

(ト) 其他

五. 光学兵器装

(イ) 潜望鏡

八八式八米潜望鏡 三型 改一 (特)
八八式八米潜望鏡 四型 改二 (特)

一組 一組

(ロ) 測距儀

九六式六六糧
八糧双眼望遠鏡 移動托架付

一組 一個

(ニ) 望遠鏡

(三) 其他

六. 電気兵器装

(イ) 推進電動機

直流電動機 特 E 型

四基

電動機

馬力一三五。 毎分回転数 五九。

発電機

馬力一〇〇。kw 毎分回転数 四八。

(ロ) 主蓄電池

蓄電池 特 D 型

二。八八個

七. 無線兵裝

(一) 二次電源
(二) 其他

五五V 三KV A

二基

(三) 送信裝置

特四号送信機

(四) 受信裝置

特受信機

(五) 水中受信裝置

(六) 電波探知機

(七) 電波探信儀

对航空機用及对艦見張用

(八) 輕便電信機

T M 輕便電信機改二

(九) 測波裝置

(十) 短波檣

(对航空機用 兼用)

(十一) 其他

各

一組式 一組 一組 一組 一組 二組 一組

八、音響兵装

- (1) 水中聽音裝置
九三式水中聽音機三型(潛水艦用)
一組
- (2) 探信裝置
反稱三式探信儀四型改一
一組

(3) 其他

九、機關

- (1) 主機
二基
式一號 內火機械
- (2) 軸馬力及推進軸同轉數(每分)

種類	軸馬力	正味馬力	同轉數
特殊公試全力			
公試全力	二七五。	三〇〇。	四八。

(1) 軸系及推進器

軸系
推進器
直徑 一・八五。米
二軸

十二、主要ナル機装品等

(1) 揚 錨 装置

主 錨

主 錨 鎖

(2) 冷 却 機 械

〇.八 魁

径 二九 耗

長 サ 二〇〇 米

二〇.〇〇〇「カロリー」

一 個

一 條

二 基

土重 量 (噸)

名稱	狀態	常備標準狀態	滿載標準狀態	輕荷標準狀態
船殼		四七八・二	四七八・二	四七八・二
艦裝		五五・六	五五・六	五五・六
固定齊備品		七・九	七・九	七・九
固定「バラスト」(移動室)共		六五・〇	六五・〇	六五・〇
砲煩		四・〇	四・二	二・四
水雷(壓縮空氣共)		六五・三	六五・三	四六・八
航海		二・四	二・四	二・三
光學		五・二	五・二	五・二
電氣(蒸溜水共)		二七六・六	二七八・〇	二七四・四
無線		六・五	六・五	六・五
音響		二・七	二・七	二・七
機関(水及油共)		一一七・〇	一一七・〇	一一七・〇
一般齊備		一四・一	一七・七	八・〇

合 計	重 油	軽 油 (内火機用)	軽 油 (魚雷用)	潤 滑 油	海水其他	「メイタラ」内残水
一 二 九 一 ・ 二	一 四 三 ・ 八	〇 ・ 四	〇 ・ 一	一 〇 ・ 〇	二 六 ・ 四	一 〇 ・ 〇
一 二 九 一 ・ 二	一 四 三 ・ 八	〇 ・ 四	一 〇 ・ 一	一 〇 ・ 〇	二 一 ・ 二	一 〇 ・ 〇
一 二 九 一 ・ 二	一 四 ・ 四			一 ・ 〇	一 九 三 ・ 八	一 〇 ・ 〇

十三、復原性、舵、旋回性能等

復原性能（水上）

名稱	状態	復原性能（水上）		
		常備標準状態	滿載標準状態	輕荷標準状態
排水量	(噸)	一二九一・二	一二九一・二	一二九一・二
平均吃水	(米)	五・四六	五・四六	五・四六
キルラインヨリ重心迄ノ高サ	KG (米)	二・八七	二・八八	二・八五
重心ヨリ横向ノ高サ	GM (米)	・四六	・四五	・四八
最大復原挺角度	(度)	一〇七・	一〇六・	一〇五・
最大復原挺	(米)	・三二	・三一	・三四
復原性範圍	(度)	九〇以上	九〇以上	九〇以上
水線上重心迄ノ高サ	OG (米)	(-) 二・二九	(-) 二・二八	(-) 二・三一
豫備浮力	(%)	一一・九	一一・九	一一・九
風圧側面積比	(%)	四〇・三	四〇・三	四〇・三

		復原性能 (水中)	
名	稱	狀	態
排	水量	(噸)	常備可潛狀態 滿載可潛狀態 輕荷可潛狀態
重心ヨリ浮心迄ノ高サ		(米)	
舵	型式	及	數
下部縱舵	橫舵	補助潛舵	平衡舵
半平衡舵	平衡舵	平衡舵	
面積	面積		
比	積		
(船体ト比)	(平方米)		
四一・四	八・五五	一〇・二一	二・九八
三二・〇			
一〇・九五			

旋回性能

狀

態

水上(常備)

水中(潛航)

速

力

(節)

公試全力

四時間放電率

舵

角

(度)

三五

三五

旋回圈

最大縱距

吃水線長上, 比
全長上, 比

三五

三〇

最大橫距

吃水線長上, 比
全長上, 比

四五

四〇

旋回中、最大橫傾斜角度(度)

一〇

二八

動搖周期

狀

態

常備標準狀態

動

搖

周

期

(複)

(秒)

約

五・六

十四連續行動期間

貳拾五日

(終)